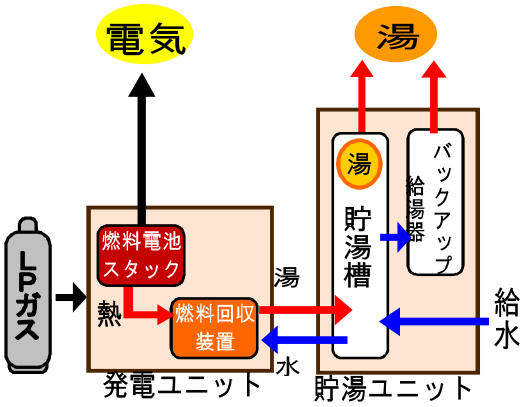
エネファームとは？

「エネファーム」とは、『エネルギー』と『ファーム＝農場』の造語です。
水と大地で農作物をつくるように、水素と酸素から電気と熱をつくること。
自分のエネルギーは自分でつくるという、これからのエネルギーの考え方を、ファームと言う世界観で表現しています。

電気が生まれる仕組み

LPガスなどのエネルギーから水素を取り出し、燃料電池のセルタックで空気中の酸素と化学反応させ、水の電気分解の逆の原理で発電する仕組みです。
発電時に発生する熱でお湯をつくるので、



発電効率は70～80%

発電所と使う場所が離れている従来のシステムでは、利用できるエネルギーは35～40%だけ。発電時に出る熱も利用できずに捨てています。
エネファームなら、使う場所で発電し、その熱を給湯などに利用するので、エネルギー利用率は

CO_2 削減量は2,200m^{2}の森林に相当

エネファームを使っているご家庭での年間の二酸化炭素の排出量を従来のシステムと比べると、二酸化炭素の削減量は約1．2t。約2,200㎡の森林が1年間に吸収する量を削減していることになります。